

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.222



代表的な株式投資のスタイルにはどういったものがありますか？



グロース株に投資するスタイルや、バリュー株に投資するスタイルがあります。また、特定のスタイルを限定しない市場型というスタイルもあります。

グロース株は、成長性や将来性に対する評価が高い株式とされます。こうした株式は一般的にPERやPBRが比較的高く、配当利回りは低く、ROEは高いといった特徴があります。このような株式へ投資するスタイルはグロース株投資といわれます。一方で、**バリュー株は、企業が生み出す利益や保有資産などから算出される企業価値と比較して、株価が低い状態（割安）にある株式**とされます。一般的にPBRとPERに注目し、競合他社や自社の過去平均等との比較で高いと割高、低いと割安とされます。配当利回りは比較的高く、ROEは低いといった特徴があります。このような株式へ投資するスタイルをバリュー株投資といいます。

〈グロース株の投資尺度〉

予想 PER	実績 PBR	予想配当 利回り	実績 ROE
20.6倍	2.5倍	1.4%	12.0%

〈バリュー株の投資尺度〉

予想 PER	実績 PBR	予想配当 利回り	実績 ROE
11.9倍	1.1倍	3.2%	8.9%

また、グロース株投資やバリュー株投資といった**特定の運用スタイルに限定することなく運用するスタイルがあり、このような運用スタイルを市場型**といいます。こうしたスタイルの中で、あらゆる市場局面で収益獲得を図る運用スタイルは「全天候型」といわれることもあります。このような運用スタイルはグロース株とバリュー株の優位性が変化し、タイムリーにとらえ難い市場環境でも、運用のパフォーマンスが期待できる運用スタイルの一つと考えられます。



(注1) 投資尺度はグロース株がMSCIジャパン・グロース・インデックス、バリュー株がMSCIジャパン・バリュー・インデックス、2024年11月末時点。PERは株価収益率、PBRは株価純資産倍率、ROEは自己資本利益率の略語。予想PER、予想配当利回りはBloomberg予想。
 (注2) 日本株の市場環境の変遷のデータ期間は2014年11月末～2024年11月末、月次。2014年11月末のグロース株、バリュー株の各インデックス（配当込み）を100として指数化し、バリュー株／グロース株の比率を算出し、100を掛けて図示。
 (出所) Bloombergのデータを用いて三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績および将来の予想であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。